

□実行委員会議事録より□

10月30日(日)18:00よりエデュカス東京に於いて第7回実行委員会が開催されました。参加者〔佐々木(す)、宇野、塚本、乙津、佐々木(日)、池田、山口、藤森、〕

〈内容〉

- 出場参加者の申し込み方法について・・・ホームページ上で直接受け付ける仕組みを検討する。(受付後の入力作業の軽減、申し込んだのに届かなかったなどの事故防止を図る)
- ゲスト演奏者選びについて・・・一日中アコーディオンの音を聴いているので、ゲスト演奏はアコーディオンではない方がいい。という意見が出された。
- 「東北アコーディオンジャンボリー」について・・・来年予定されている「東北アコジャン」の日程が6月30日(土)~7月1日(日)に決まったと報告がありました。東北の皆さんと一緒に全体合奏ができればいいねとの話もできています。

〈伴奏講座について〉・・・第1候補だった来年2月4日(土)~5日(日)の1泊2日は残念ながら会場が取れなかった。したがって、「2月11,12日」それも駄目なら「2月18,19日」を候補に再度会場取りに臨む。

関東アコ・伴奏講座の特徴

☆自分で音を出しながら、伴奏のことが初歩的なことからじっくり学べます。

☆この宿泊コースは、各人の疑問や経験などを皆さんと話す機会を持ち交流するのが特徴です。

昨年度は講師を二人体制にして好評だったので、今年度も昨年同様のスタイルで企画する予定です。

■ コーヒータイム・・・イタリアの響き(展示会)に行ってきました

地下鉄「九段下」駅より徒歩10分ほどのイタリア文化会館で、10月17,18,19日イタリア製の楽器の展示会が催されていたので主にアコーディオンを見てきた。

ビクトリアの168万円の楽器を抱えて弾いて来たけど、アコーディオンっていう感じがしなかった。気持ち良かった。アコーディオン全部木製なのでびっくりしちゃった。胸にぴったりとついていて触れている胸にジーンと来た。で、スイッチ切り替えて“素敵ですね”って言ったら、「このアコーディオンはあなたの音色ですね」と言われた。

要するに、弾く人が違えば同じスイッチでも音が違って来るのだそうで、それがアコーディオンの良さだと係りの人が説明していた。でもメンテナンスが大変なのだそうです。定期的に見てくれる人が日本にはなかなかなくて数人だと言っていた。

ビジー二を買収した“ゼロセッテイ”という会社も展示していて、楽器が光り輝いていた。ただ、ゼロセッテイの担当者が日本に来て体調を崩したとかで展示会場には姿がなかった。(山口)

